

## 平成 29 年度 第 2 回学校協議会 議事録

日 時：平成 29 年 11 月 29 日（水）14 時～16 時

場 所：本校記念会館一階会議室

出席者：川田会長、新宅委員、大野委員、山本委員、長谷川委員、石井委員、阿部校長  
（7 名）

（事務局）田中教頭、井筒事務長、奥田首席、長束首席、林首席、向山指導教諭、  
奥平教務主任、藤本保健主事、松本生徒指導主事、大村進路指導主事、安井総務主任、  
高橋特活主任、三谷機械系主任、美馬電気系主任、齋藤メカトロニクス系主任、山下工学  
系主任、荻野一年生学年主任、中西三年生学年主任（18 名）

### 1 校長あいさつ

### 2 報告事項

- (1) 校長より（阿部校長）
- (2) 平成 29 年度 部活動加入状況（高橋特活部長）
- (3) 平成 29 年度 進路状況報告
  - (ア) 就職状況（大村進路指導部長）
  - (イ) 進学状況報告（向山指導教諭）
- (4) 平成 29 年度 本校の広報活動
  - (ア) 中学校等への説明会について（田中教頭）
  - (イ) 中学校体験入学について（安井総務部長）
  - (ウ) 中学校訪問について（安井総務部長）
- (5) その他

### 3 協議題

〔質問〕基礎力診断テストの結果について、入試の志願倍率の高い年度は上位層の生徒が入学しているが、2 年生になると上位層が少なくなるのは？

〔回答〕基礎学力テストは国語・数学・英語の三教科で実施している。学年が上がるにつれて専門教科の単位数が増え、3 教科の取組みが弱くなる。

〔質問〕総合募集と工学系とは、学力差はあるのか。

〔回答〕入試倍率の高いときには、成績上位層が多い。隔年ごとに入試倍率の高い年が交互にある。

【意見】授業見学・授業参観等において、アンケートをとってはどうか。

〔質問〕大学進学後の追跡調査は行っているか。

〔回答〕工科高校推薦枠で大学進学した生徒の追跡調査は、工科校長会で行っている。

〔質問〕中学生が工業に対する興味・関心が薄れてきている。医療系・看護系を希望する生徒が多い。教育大学出身の教員が多く、理科の実験ができない場合が多い。大阪市では理科

を専門に教える教員の比率は高い。生徒に興味がわくような授業をしなければならない。

中学校教員は工科高校の内容を知らない。保護者も知らない。

【回答】生徒の希望が少ないため、来年度は9工科高校中、4校は学級減。全国的にも工業高校は減ってきている。

【意見】工科高校において、イノベーションをあげる教育が必要である。

【質問】中学校訪問時の学年の先生に会っての感触はどうか。

【回答】中学校訪問の報告書によると、熱心に質問をしてくる中学校の先生もあれば、そうでない先生もある。

総合募集と工学系とは学力差はあるのか。

【回答】

入試倍率高いときには、成績上位層が多い。隔年倍率現象。隔年ごとに入試倍率の高い年が交互にある。

【質問】

大学進学後の追跡調査は行っているか。

【回答】

工科高校推薦枠で大学進学した生徒の追跡調査は、工科校長会で行っている。

【質問】

中学生が工業に対する興味関心が薄れてきている。医療系・看護系を希望する生徒が多い。教育大学出身の教員が多く、理科の実験ができない場合が多い。

【回答】

大阪市は理科を専門に教える教員の比率は高い。生徒に興味がわくような授業をしなければならない。

中学校教員は工科高校の内容を知らない。保護者も知らない。9工科高校中、4校は学級減。全国的にも工業高校は減ってきている。

【質問】

中学校訪問時の学年の先生に会っての感触はどうか。

【回答】

中学校訪問の報告書によると、熱心に質問をしてくる中学校もあればそうでない中学もある。